

QSS-3300・3301・3302・3501・3502

QSS-3501PLUS・3502PLUS タンク液の調液方法【MPC仕様共通】

1. 処理薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要箱数	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	1本	1本	3本	2本

2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		13.6 L	13.9 L	26.5 L
調液割合	補充液	5.5 L	8.4 L	26.5 L
	スターター	1,500 ml	—	—
	水	6.6 L	5.5 L	—

3. タンク液の調液

- * 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。
- * 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1
(CD)
1. 容量 10L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 8L 用意します。
 2. P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 5.5L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 4.5 L)
 4. P-1S (スターター) 1,500mLを CDサブタンクから注入します。
 5. 15～40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。
(約 6.6 L)

- P-2
(BF)
1. 容量 10L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 5L 用意します。
 2. P-2R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 8.4L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約1.6L)
 4. 15～40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。
(約 5.5 L)